

1. ASEAN+3観光大臣会合(1月21日)

○概要

1月21日(月)9:00~12:00

ラオス・ビエンチャン (ドンチャンパレスホテル)

ASEAN 10ヶ国及び日本・中国・韓国(ASEAN+3)の観光担当大臣が一堂に会し、ASEAN+3諸国の観光交流促進について意見交換を行った。

○鶴保副大臣発言要旨

- ・観光分野は我が国経済にとって将来的に大きな成長の可能性を秘めており、安倍新総理は、観光の振興を通じた経済の活性化を進めることを重視している。
- ・日本人にとってASEAN諸国は極めて重要な訪問先であり、互いの交流拡大に向け、我が国が官民共にこれからより一層力を入れていく。
- ・本年が日本とASEANとの交流が始まった1973年から数えて40周年に当たるのを機に、連結性を一層強化していく。

○会合の結果概要

- ・日本、中国、韓国のASEANに対する観光協力への謝意等について記した共同メディア声明を採択。
- ・ASEAN事務局よりASEAN観光戦略ワークプラン、ASEAN+3ツーリズムコーポレーションやASEAN+3国際旅客と到着者数(2011-2012)などについて、昨年一年間の進捗動向や報告がなされ、承認された。



2. ASEAN+日本、中国、韓国、インド観光大臣共同記者会見(1月21日)



○ ASEAN+3観光大臣会合共同メディア声明(ポイント)

- ・各国の観光省庁間の協力を強化するための「2013年~2017年ASEAN+3観光協力ワークプラン」の採択
- ・ワークプランを推進するためのASEAN+3観光ワーキンググループを設立することに合意。
- ・各国大臣は観光事業の成長維持につき、ASEAN+3諸国間のアクセスが果たす役割の重要性を指摘。
- ・ASEANと日中韓各国の航空便強化に関するイニシアチブにつき、ASEANと日中韓と運輸セクターの協調強化の進展について歓迎。
- ・ASEANと日中韓各国間の観光事業に関する交流をさらに推進するために、日中韓のASEANセンターが果たす役割の重要性を確認。
- ・観光プロモーション分野での技術支援、主要旅行展示会及び能力開発への参加に対し感謝。